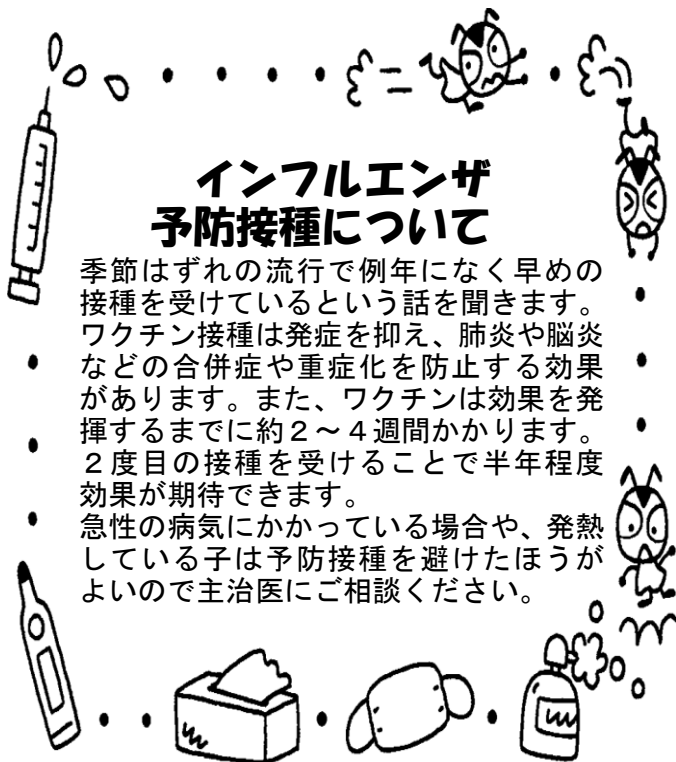




11月のほけんだより

2017.11.1発行
田園調布学園大学
みらいこども園
(看護師一場峰子)

11月になり、木々の葉も美しく色付き始め、一段と秋の深まりが感じられる頃となりました。先月は寒暖の差で体調を崩し、お休みをする子もみられました。本格的な冬に向けて、生活リズムや服装、食生活などを見直しかぜに負けない丈夫な身体づくりをこころがけましょう。



インフルエンザ 予防接種について

季節はずれの流行で例年になく早めの接種を受けているという話を聞きます。ワクチン接種は発症を抑え、肺炎や脳炎などの合併症や重症化を防止する効果があります。また、ワクチンは効果を発揮するまでに約2～4週間かかります。2度目の接種を受けることで半年程度効果が期待できます。急性の病気にかかっている場合や、発熱している子は予防接種を避けたほうがよいので主治医にご相談ください。

シールの誤嚥に注意

子どもはシールが大好き。お家でもいろんな所にペタペタと貼って遊んでいることも多いのではないのでしょうか。そのシールによる誤嚥事故が報告されています。のどの奥のほうへ入り込むと、貼り付いて窒息することもあります。分厚いプラスチック製のシールはのどを傷つけることも。全身麻酔をして取り除いた例もあります。シールは小さな子どもの手の届かない場所へ。お兄ちゃんお姉ちゃんがシールで遊んでいたら赤ちゃんが誤って手にしないよう十分注意をしましょう。

感染性胃腸炎に注意！！

11月～翌2月にかけて感染性胃腸炎が流行します。

症状

病原菌で異なる
下痢、嘔吐、悪心、腹痛、発熱など。病原菌の種類や個人差により、症状は異なります。

感染経路

- 食べ物から・人から
- 汚染された食べ物による経口感染
- 感染患者のふん便や吐物からの二次感染など

あうちでの予防のポイント

排便後や調理・食事の前の手洗いを徹底しましょう。二枚貝や鶏肉などを調理するときは、中まで十分に加熱してください。